

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	介護相談員は、一方的に利用者との相談を聴いたままの状態になっている。グループホームと、より連携できるように連絡ノートを作成し、情報交換を願いたい。	介護相談員とグループホームが協力体制をもって介護サービスの充実を図るため連絡ノートの活用を目指す。	相談内容を記録し、介護相談員とグループホームとの意見交換、確認をする。	6ヶ月
2	11	代表者は、職員の意見や、提案を聞くために「定期的な職員との個別面談」を実施している。より利用者の立場に立った運営を期待したい。	「職員との個別面談」は、ケアサービスの向上を促進し、利用者の立場に立った運営の充実を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者個別面談 年1回。 ・管理者面談 年1回。 ・職員会議 毎月1回。 	6ヶ月
3	10	今後も家族向け学習会や地域の方を含めた交流会の開催を期待したい。	利用者・家族等の意見、要望を家族会や地域の方を含めた交流会に話す機会を定期的に位置づけてグループホームのより良い運営を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議 年6回開催。 ・家族会 年2回開催。 ・職員会議 毎月1回。 	6ヶ月
4	2	地域の認知症ケアの拠り所として、介護相談窓口の今後の活動を期待したい。	認知症ケアに関する知識や、経験を活かしてグループホームを拠点として介護相談活動の取り組みを図っていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会等の掲示板にグループホームの行事や介護相談窓口等の広報を掲示する。 ・地域向け広報誌配布。 	12ヶ月
5	35	災害時の利用者の救援体制について、運営推進会議でも検討の機会を設け、整備されることを期待している。	地域ぐるみの消防訓練や緊急時に備えて、利用者の救援体制作りを図っていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議にて提案。 ・自治会等に参加し、救援体制への理解を得る。 	12ヶ月